

令和 8 年市政報告会内容報告（各地区公民館での意見交換内容の概要）

地区名	日時	内容
恋野	R8.7.21	○子育て支援は充実してきているが高齢者への支援について 【健康福祉部長】 第 2 層協議体において、草刈りやごみ出しといった生活支援、また移動支援などの様々な地域課題について、検討していただいています。各地域で課題も違いますし、地域の資源も異なります。市も地域に入って一緒に解決策を考えていくとともに、市として出来る支援を検討していきたいと思っています。 ○小児科や産科の診療受入れ体制について 【病院事務局長】 小児・周産期医療というのは、これからの将来を担う子どもを生んで育てていく環境ということで絶対になくってはならないものと思っています。和歌山県立医科大学などへ医師を派遣していただくよう訴えかけ、医師を確保し、地域医療を守っていきたい。 ○100 歳を超えての健康保険料や介護保険料の納付について 【健康福祉部長】 国の社会保障制度ですので、例えば 100 歳以上の方を市の判断で安くするということは出来ませんので、ご理解願います。 市としては、市民の皆さまに健康に生活していただき、そして介護保険料や医療費の抑制につながるよう、引き続き介護予防として、げんきらり～教室やいきいき百歳体操、サロンなどの取り組みを推進してまいります。 【市長】 100 歳以上の方の保険料納付などを含む高齢者への支援についてのご意見を、国へ伝えていきます。 ○個人所有の土地の草刈りの手当の支給や鹿対策について 【経済推進部長】 制度要件はありますが、市の単独補助金を使っていただくなどいろんな制度を組み合わせ、草刈りに対する負担を減らすことが出来たらと考えています。また、鹿の対策については、防護柵の設置のための市単独補助金もありますし、県の補助金もありますので、これを駆使しながら進めていただきたい。また、鹿の農作物被害対策については、追い払うことや捕獲することしかないと思いますが、恋野地区には狩猟者が少ないので今後銃猟も含めて地域と相談しながら進めたい。

		【市長】 信太地区のように地域おこし協力隊にサポートしてもらっているような事例もあるので、恋野活性化委員会などでもそのような事業ができないか一度検討していただけたらと思います。 ○医療制度を維持するため市長から国に対し提言をしてほしい 【市長】 中小事業者で働かれている人が社会保険に移れるようになったので、国民健康保険の維持が厳しい状況で、国が補助できる範囲、また高齢者の皆さまに負担感等について、11月の厚生労働省に行く際に伝えていきたいと思っています。 ○固定資産税が高いことについて 【総務部長】 家屋は調査をもとに評価させていただき、土地は鑑定評価に基づき、定められた税率で、税額を算出しています。市として一定の税金を下げるということは出来ません。個別の案件については税務課にお問い合わせください。 【市長】 誘致企業は最初は優遇制度はありますが、固定資産税と法人税を納付していただいています。税収の一番目のメインは固定資産税になります。一律で固定資産税を下げてしまうと税収が減ってしまうことにもなりますので、適正に徴収をしていきますことへのご理解をお願いします。 ○チャット GPT で、今後発生するかもしれない地震のリスクを踏まえて和歌山県でどこがいいかと聞いたら、橋本市が拠点になり活躍するところになるとの回答でした。それを踏まえて、災害時の準備が必要ではないか 【市長】 大地震が起きたときには、橋本市も木造の建物が多いので、大きな被害になると想定されますが、自衛隊が橋本運動公園に駐屯し、橋本から津波の被害のあったところへ支援にいくことになります。橋本市が、県からどのような役目を果たしたらよいのかを明確に伝えられておりませんが、有事に備え準備を進めていきたいと思っています。
--	--	--